

◆ 内部仕上げの概要。

※ 木材拾い出し(積算)にあたり各種工事凡てをもうらした数値(数量)を、拾い出し順に、「木材明細書」に記載すること。

- 計測・計算(積算作業)の手順として、「線状部位」・「面状部位」の2つに部位に手順を大別する。
- 区分けに付いて、住宅(建物)主要部分から順次。原則として、各階ごとに分け「各室屋」・「各室屋の附属部位」・「玄関ホール」・「縁側」・「階段」・「廊下」・「その他雑」などごとに区分けすること。

◎ 線状部位

※ 線状部位の部位拾い出し手順として、「開口欠除の部材」・「床の各部材」・「床と壁との見切部材」・「壁の各部材」・「壁と天井との見切部材」・「天井の各部材」・「階段部材」・「手摺関係材」・「その他雑」の手順とすること。

- 拾い出し明細書には、必要数値や所要数値を記載すること。ただし設計数値も必ず記載すること。②～小物や乱尺が有り、また既製品・色調によるものや、組・束・箱・ケースになってい為必ず上記数値を記載する。

1. 開口欠除の部材。～(開口部周囲の見込・見切化粧材)。建具類及び各開口部枠类等。金属建具類の押縁・見切枠・額縁等。

「敷居」・「沓摺」～(水返し付・間仕切・出入口・各部位・寄せ・無目・欄間・中連窓敷居。)等。

「方立柱」・「縦枠」～(方立縁縦枠・戸当り縦枠・開き戸当り・中連窓縦枠。)等。

「鴨居」・「楣」・「上枠」～(無目・落し掛け・欄間・見切・中・差し。)等。

「足立束」・「栴束」・「吊束(釣束)」・「繕板」・「額縁」・「袴木」。

2. 床の各部材。～(各部位の仕上げ段差見切材)。床面異種材の見切材。

「見切縁」・「沓摺」・「框」・「縁框」・「上り框」・「式台(敷台)」・「床端板」・「耳板」・「蹴込板」・「地板」等。

3. 床と壁との見切部材。～(コーナーの各部位材)。

「畳寄せ」・「幅木」・「雑布摺」・「留め縁」・「押縁」・「見切縁」・「地覆」・「腰板幅木」・「袴木」等。

4. 壁の各部材。

「付鴨居」・「長押(蟻長押)」・「台輪」・「見切縁」・「玉縁」・「押縁」・「笠木」・「天板」・「織部板」・「幕板」・「雲板」・「定規縁」等。

「押入造作材」～中段框・中段根太・天袋框・天袋根太・枕棚框・枕棚根太・枕棚板・受棧。

※幕板は壁付。雲板は両面化粧。織部床の幕板を織部板と云う。